

## 日本流体力学会 年会 2020 アンケート自由記述欄一覧

年会 2020 実行委員会

ご意見・ご感想・ご意見やアイデア等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

57 件の回答

- よく考えられていて安心して参加できました。運営ありがとうございました。
- オンラインのシステムはよく準備されており、ホームページでの説明も詳しく丁寧にされていた。異なる複数のパスワードが設定されているため、やや読み込まないと入室したいセッションに行けない時もあった。メールと HP での案内のいずれを主とするのか難しいところと思う。運営としては全く問題なく、各セッションでも順調に発表が行われたと感じる。対面が良いのか、オンラインが良いのかは難しいところであるが、講演前後の交流が少なく、刺激も減るという意味では学術・工業的な発展には対面式は重要であると感じる。
- 入室の手続きがやや煩雑でした。zoom できるかどうかわかりませんが、同時に複数の部屋に入れると、部屋を移るときに便利だと思いました。参加者の一覧を見ることができるので、誰が聴きに来ているかわかるのがよかったです。カメラ ON のほうが、臨場感があったと思います。オンラインでのディスカッションは、質問者と発表者の間のやり取りのみになるため、慣れが必要だと思いました。参加登録費について、オンライン開催になり半額になった学会もありましたので、検討していただけるとありがたいです。
- 初めてのオンライン開催で、ご準備が大変だったと拝察します。準備状況や手続きなどを事前に細かくお知らせ頂いたため、当日は発表・聴講ともに、ストレス無く行えました。別の学会でオンライン開催の準備を進めており、今回の年会の形式を大いに参考させて頂きます。ありがとうございました。
- 予稿集の pdf ファイルの番号が、プログラムには記載がないのでダウンロードしたあとどれがどれなのか分かりにくかったです。対応が分かりやすい名前をつけてもらえると助かります。
- 運営大変お疲れ様でした。講演スライドを間近で見れて現地会場で聞くよりも伝わりやすい面もあり、新しい形式の講演会で今後の講演会への良い意味での影響が楽しみです。プライベートチャットを使って講演後もさらなる意見交換もできましたし、チャレンジングで充実した年会だったと思います。質疑応答をさらに充実させるために、講演開始時にスライド資料を配布しても良いという人はチャットでファイル送付もして良いと思います。または講演原稿へのリンクやメールアドレスをチャットに出すなどするといいかもかもしれません。質問したいタイミングが重要なので、後でアクセスして調べて問い合わせるというプロセスをスキップさせるためです。講演を録画して一定期間はいつでも拝聴できるのもありがたいです。聞きたい講演が重なってしまったりしたときにとっても有効だと思うからです。いずれにしても今回は新たな試みの講演会であり、大成功だったと思います。どうもありがとうございました。
- でもオンサイトの方が良いですね。
- 運営、有難うございました。ご苦労されたことと思いますが、参加者としては普通に良い講演会でした。
- セッション間の移動がしにくい印象を受けました。AI セッションの平行セッションは、なるべく AI

セッションの話題と関わりが低いものにしておくのが良いと思いました。

- 全体を通してスムーズに進行しており、綿密なご準備をされていたことが伺えました。今回、オンラインでの開催となりましたが、どこからでもアクセス可能な分、遠方や海外の方も気軽に参加できたのではないかと思います。今回明らかになったオンライン開催の利点を、次回以降にも活かすことができれば良いかと思います。このような状況下、貴重な学术交流の機会を頂くことができ、運営の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。
- 会場のスクリーンに投影されるパワーポイントスライドを遠くから眺める従来の形式よりも、むしろ自分のPC画面一杯にスライドが表示される今回のオンライン形式の方が、見やすく理解もしやすかった。
- 現地開催であつたら出席できませんでしたが、オンラインのため参加することができ、時間も有効に活用できました。休憩時間中に立ち話ができるようなブレイクアウトルームがあると便利かもしれません。何らかの形でオンライン形式も継続していただけると助かります。
- オンラインということで、気軽に参加できた。
- 臨場感や雰囲気はリアルの場合と同じというわけにはいかないと思いますが、発表スライドなど目の前の画面で見ることができること、音声も聞き取りやすく、リアルの場合よりも発表内容が分かりやすいと感じました。加えて、どこにいても講演発表をしたり聴いたりできること、旅費を考えず参加できるので学生も参加しやすいことを考慮すると、今後、リアルで開催する場合にも合わせてオンラインでの発表も可能なハイブリッド方式で開催できると、より参加しやすく盛り上がるのではないかと感じました。オンラインも意外に良い点も多いと感じました。実行委員のみなさまには本当に感謝

申し上げます。とくに大きなトラブルもなく、初めてのオンライン開催を無事成し遂げられたのは、綿密で十分な準備がなされていたからだと思います。本当に大変なご苦勞であつたと思います。次につながる大きな一歩となつたのではないのでしょうか。

- 実行委員の先生方、おかげさまを持ちまして大変よい年会だつたと思います。オンラインは、参加者が多く有意義なディスカッションができていました。ただ、大学のオンライン講義でも同じなのですが、周りとの雑談とかがしにくいなど、横のつながりを広げることができればなおよいと思いました。また、あまり周りに聞いてほしくない質問(“基本的過ぎて”や“テクニカルすぎる質問”)などは、しにくいところがある印象を受けます。
- 運営も円滑で、スライドも見やすく良かったです。残念なのは、発表の場以外での雑談がしにくいことくらいでしょうか。
- 仕組み等はすばらしかった、実際行かなくてもすばらしい学会だつた。ただ、学生さんが遠慮がちに質問していたのはよかつたのか悪かつたのか？
- 接続もよく、臨場感も感じられた。質問もしやすいと感じた。セッション後に発表者と議論できる場があればなおよいと思う。
- 初めてのオンライン開催ということですが、事務の方々の準備のおかげで非常にスムーズだつたと思います。特に不自由は感じませんでした。ただ、やはり質問・ディスカッションの時間になると、実際の会場のような「場の空気」というのが感じられず、質問があつても聞いていいか躊躇することが多々ありました。
- どうなるかことかと心配しておりましたが、すばらしい年会になつたと思います。担当された実行委

員各位のご努力に敬意を払うとともに感謝申し上げます。

- 対面に比べ、多少の物足りなさを感じる一方で、移動に時間がかからない、旅費がかからない、といったオンラインならではのメリットも享受できました。情報収集、という点では対面と遜色ないと思われました。学会参加のハードルを下げ、流体力学に関わる研究の裾野を広げる意味でも、今後も積極的にオンラインを活用したイベントを開催していただけると有難く存じます。
- 今回、初めてのオンライン実施の年会で開催でしたが、実行委員の先生方本当にお疲れ様でした。
- 質疑応答には慣れるまで若干の戸惑いもありましたが、通常の年会講演会の質が保たれたと感じています。また、講演室の移動も容易で、パレルセッションのデメリットが多少は解消されたかもしれません。セッション前後や懇親会での討論ができないのは残念でしたが、座談会は話がはずんでいたため、今後もオンライン形式が余儀なくされた場合には、このような座談会場を複数準備することも検討されても良いと思います。ともあれ、今年度は大きな制約の中で、期待以上の成果でした。困難な状況で成功裏に運営していただいた実行委員の皆さんに深く感謝します。
- B 会場に時々入れなかった。原因は不明であるが、もし、同様の声があった場合には、ご一考願いたい。遠隔地でも参加できたのは良かった。これは非常に重要な点であった。山口大学でこの時期に開催されていたら、決して参加できなかった。リモート開催の良い点として、スライドが見やすいこともあげたい。座席によっては見にくいスライドも、隅々までよく見えた。他方、講演が途中で中断したこともあり、良し悪しがあった。しかし、私自身の問題として、明日からの授業の準備のために、集中して聞けなかったし、マイクの準備をし

ていなかったため、発言機会を逸した。私自身が、このような学会開催に不慣れだったことが露呈した。yguv\_ube が、山口大学 Virtual 宇部の意味であることに気づくのが遅れたために、覚えにくかった。意味付けも与えられると覚えやすいのではないかと考えた。こうした点を除いては、大会運営は、驚くほどよくできていて、大会参加費を支払った意義を感じた。この場をお借りして、深く、深く、お礼を申し上げたい。ありがとうございました。

- 実行委および座長・ミーティング管理の皆様には大変お疲れさまでございました。一堂に会する空気感はありませんでしたが、当方の参加した場面に限っては聴講や議論には全く支障もなく一定の議論ができ、大変満足しております。早期に対面の会議の再開が望まれますが、しばらくオンライン会議が続くようであれば懇親会もオンラインで(いわゆる zoom 呑み)設けてもよいかもかもしれません。ありがとうございました。
- 全体的には非常に円滑に運営されていたと思います。準備・運営を担われた方々には感謝申し上げます。一方で、会議情報の展開や参加者の名前の確認など、少し管理が過剰で運営の負荷をいわずらに上げるだけだったのではないかと思います。また、時間の確認についても、Zoom のカメラに時計を表示する、PC でベルの音を再生する等のやり方もあったかと思います。
- 運営側で生じたトラブルで遅延しているのにセッションの終了時刻を守らせようとするのは、対応としておかしいと思いました。
- 従来の学会参加と同様の成果を実感しています。ご尽力に感謝申し上げます。
- 来年はコロナ対策を行ったうえで対面でやれれば幸いです。
- 障害などもあったなか、運営お疲れ様でした。メジャーな他学会の秋季大会後などということもあ

ったのか、参加者の皆さんもとても慣れていらして身のある議論ができました。一方で、初参加の学生さんたちには対面の丁々発止の臨場感が伝えられなくて残念だったなども感じています。

- パスワードが 2 つで入室するのに焦った。タイムキーパーが講演終了時間を連絡してくれないのはちょっと困った。(自分で判断した)
- ご開催ありがとうございました。M1 で、学会に正式に参加するのは初めてなので、非常識なことを言っていれば申し訳ないのですが意見を申し上げます。予稿 pdf のファイルについてですが、ダウンロードした html ファイルでプログラムとの対応がついているのはありがたいです。ですが、ダウンロードした paper フォルダに入っているファイルの名前が(特別公演を除けば)001~274 しか書いておらず、聞けなかった講演に対応するファイルがどの番号かわかりにくかったです。ですので、paper フォルダにあるファイル名に、どの日にちのどの部屋で誰が発表したか、もしくはどの時間帯で発表したかをファイル名に書いていただくか、html ファイルに書いてあるプログラムが 001~274 のいずれの番号に対応するかの番号を書いていただくとありがたいです。例えば 9/20 の B 室の 12:10~12:30 に A 先生が発表される場合、A 先生の予行が 001 番だった場合、paper フォルダのファイル名に 001\_A\_20 日\_B\_1210.pdf と書いていただくか、html ファイルのプログラムの B 室 12:10~12:30 のタイトル欄に 001 と書いていただく様な形です。もし実現可能であれば、ご検討いただくと幸いです。
- 議論の活発なものとはそうでないものの差が著しく顕著になり、会場からの質問が全く出ないことが増えたように思います
- 「休憩室」、「懇親会」が次の機会の課題でしょうか？ 今回の実行委委員会の行動履歴を文書に

まとめれば、次の機会にマニュアルとして利用できます。

- 運営ありがとうございました！
- オンラインならではの工夫があればよかった。機械学会年次大会ではアーカイブされたものを3日間観ることができたので、裏のセッションの講演もチェックできた。
- 運営を担当された方々、大変お疲れ様でした。オンラインでこれほど完成度が高い運営ができるとは想像しおらず、誠に感謝申し上げる次第です。
- 有り難うございました。久々に参加できました。私のように発表がないけれど聴講したいという人間には参加しやすいシチュエーションでした。個人的な相談や雑談が出来ないのは難点ですが、僅かでも参加できることはプラスと思います。
- 9月に学会をやるなら、講演会は土・日(休日)にすべきではないと思います。
- 何度も突然のオンライン切断があったにもかかわらず、説明が何もなかった。
- Online の discussion は、やはりその場の議論と同じとまでは行かないと感じました。実施に際して、初めてのことで色々大変なことが多かったと思いますので、実行委員の方々には本当に感謝します。
- アフターコロナも、オンライン開催 or ハイブリッド開催という形もありかと思います。しかし、対面無しでは交流促進が図れませんので、隔年でオンライン開催や、例えば数値流体シンポジウムと交互にオンライン⇔対面を切り分けるなどは如何でしょうか。思いつきですが、一意見として宜しくお願い致します。
- 座長を務めさせていただきましたが、非常に良く準備されたオンライン学会になっており、素晴し

かったと思います。今後もオンラインの方が良いのではないかと思えるほどでした。実行委員会の皆様、本当にありがとうございました。

- 2 日目 9/19 に行われた流体数理(3)(B 室、13:30~15:10)に入室することができませんでした。
- 講演者、座長は常にビデオを必ず ON にし、質問者も質問時にビデオを ON にすることを義務付けておけばより臨場感があって良かったと思われる。
- 参加者としては、特に普段から行っている zoom セミナーや会議と同様の感触であり、特に違和感はありませんでした。あるセッションで座長を務めました。・担当委員、タイムキーパーなどの方々のおかげでほぼ問題なく進行できました。・質疑応答時に、挙手に気づかなかったことが2回ほどあり、私の不注意ではありますが、何か良い対処法があればと思います。
- その部屋の参加者全員の顔が見られるとより臨場感が感じられると良いと思いました。
- オンラインは安価に参加できる(旅費、宿泊費不要の)メリットがある。
- zoom ログイン時のパスワードは不要なのではと思いました。煩わしかったです。
- 運営側のご尽力に感謝いたします。発表も滞りなくでき、他講演者への質問等もスムーズに行うことが出来ました。ZOOM のシステムトラブルがなかったのも運営側のご尽力と思います。また、種々の案内をメールで頂けたのは良かったです。質問等もメールで即急にご回答いただけました。大変お世話になりました。
- Zoom で表示する名前を、申し込み時の苗字に変更するよう求められましたが、旧姓でも可にしたいです。(学会活動は旧姓で行なっ

ているため。)氏名を両方とも表示するようにすれば、名前で本人確認できるのではないのでしょうか。

- 座長をやりましたが、時間が分らなくて困りました。
- 実行委員の先生方、大変だったと思います。本当にお疲れ様でした！！
- オンラインではディスカッションの時間が限られる(ほぼ講演時間内のみ)ので、時間外でディスカッションを促進する工夫があるとよい。
- 何しろ、大変な中、実行委員の皆さんの大変なご尽力のおかげで、よい年会にでした。本当にありがとうございました。(それでも、次回は、やはり直接皆さんにお会いして、より深い議論ができればとも思います。)
- 発表者が発表して、聴講者から質問をするという、いわば「正式」のやりとりについては、オンライン開催でも通常の対面式に比べて遜色なく実施できていると思います。あとは、そこ以外の学会に付随したところでの機能を、どのように有効にできるかが課題だと思います。懇親会も含めて、飲み会の席上での情報交換などももちろんなのですが、セッションの終わったあとの休憩時間などで、関心のある発表をした人を捕まえて、少し突っ込んだ意見交換や議論をするようなことがうまくできないのが、オンライン開催に対する最大の不満点かと思います。
- オンラインでも活発な議論ができたと感じる反面、やはり発表時間外の休憩や食事の時間の議論も学会の醍醐味であることも感じました。限られた条件の中で最大限、学会としての有意義な時間が過ごせました。運営の皆様方に感謝申し上げます。

以上